

～ 地域密着工務店のドブ板販路開拓 ～

第十回 “草津の頑張る企業！”

藤田工務店株式会社

(草津市北山田町22-1、TEL：077-563-8946)



代表取締役
藤田 雅樹 氏



▲補助金を活用してリニューアルした店舗看板。
地域の方々からも店が分かりやすくなった、会社のイメージにピッタリ、と評判は上々のようです。

今回紹介する「藤田工務店株式会社」さんは創業82年（個人事業時代を含む）、草津市北山田町に事業拠点を構える木造住宅の新築・リフォーム工事を主に行う地元密着の工務店です。

「良いものを永く使っていただく」、「一生涯、愛着のもてる家づくり」をメインコンセプトとし、お客様と末長い付き合いのできる工務店を目指しておられます。

また、住宅の小さな困りごと、後回しにしがちな軽微な修繕や設備の交換などに即日対応するサービスを提供しており、「草津のかかりつけ工務店」として地域顧客と深い関わりを持っていること、既存顧客からの受注リピート率が高いことが同社の強みです。それらの強みを活かして更なる販路開拓を図りたいと考えた藤田社長は、店舗看板のリニューアルや地域へのかかわり版配布等の広報戦略を盛り込んだ事業計画書を作成。販路開拓費用の補助を受けられる小規模事業者持続化補助金の申請にチャレンジしたところ見事採択を受けました。その後の事業においては、かわら版配布を藤田社長自らが地域の1件1件を訪

問して行うなど、まさに「ドブ板営業」を展開。多くの引き合いを受けると共に、地域の方々との関わりさらに強固にすることができたとのことでした。

また、住宅市場におけるリフォーム需要の高まりを受けて「住まいの定期点検、カルテサービス」を新たに開始。これらの取り組み計画を持って再度小規模事業者持続化補助金にチャレンジしたところ、2年連続の採択を受けられました。

「小規模事業者は販路開拓にかけられる費用が限られています。そのような時に補助金の存在を知り、チャレンジをしました。採択をいただいたことで、事業をスムーズに進めることができました。」

「また、事業計画書の策定に取り組んだことで自社を客観的に見直す良い機会となりました。」と取り組み成果を語る藤田社長。

今後も地域の方々との関わりを大切に「ドブ板営業」を積極的に展開すべく、日々の業務に取り組んでおられます。



▲サーモグラフィーを使った住宅の断熱性診断の様子。
診断結果をカルテに取りまとめ、お客様に最適なリフォーム提案を提供しておられます。

当所が取り組む
経営発達支援
計画とは？

地域の経済動向や需要動向調査、経営分析、事業計画策定、展示会出展支援、経営力強化セミナーなど小規模事業者の販路開拓につながる支援を実施しています。詳しくは、業務指導課へお問合せ下さい。当所経営発達支援計画HP(<http://www.kstcci-keieihattatsu.jp/>)へも各種情報を掲載しています。